



平成14年
6月15日号

No.1096

●毎月5・15・25日発行

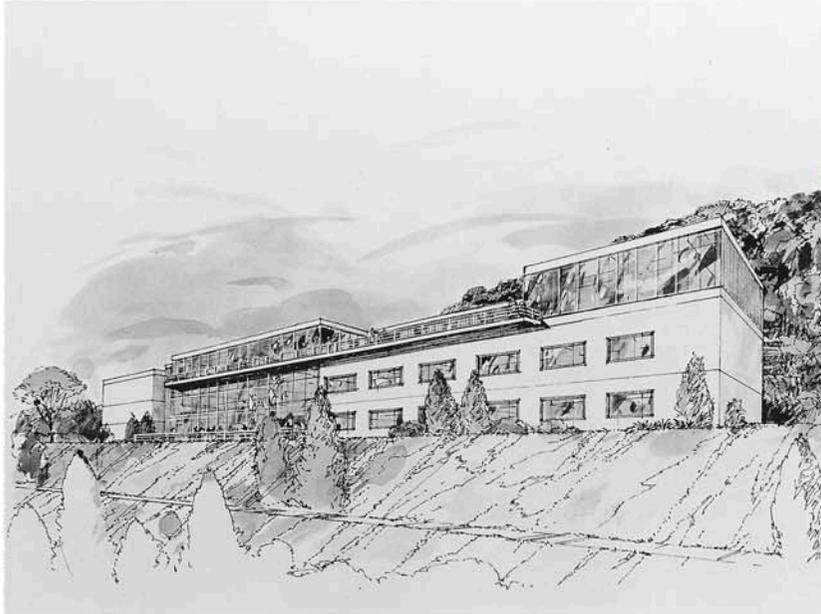
広報 かもがわ

- 編集発行・鴨川市役所秘書課 広報広聴係
- 電話・0470(93)7827
- FAX・0470(93)7850
- 鴨川市横渚1450
- 郵便番号・296-8601

セミナーハウスなど建設着工に

早稲田大学

鴨川キャンパス第1期整備事業



「大海多目的の公益用地」へ 完成は 来年5月

文化・教育・情報発信の拠点をめざして整備を進めてきた「大海多目的の公益用地」で、六月六日、市と早稲田大学の関係者などが出席し、同大学の「鴨川セミナーハウス（仮称）」建築の起工式が行われました。第一期事業として着工されるのは、通年型セミナーハウスをはじめ、テニスコート（四面）や多目的グラウンド、野外ステージ、駐車場など。早稲田大学に譲与した用地約九・六畝のうち平地部分四・七畝の西側部分が使われます。完成は来年五月になる見込みです。

鴨川校地の中心施設となるものです。

計画では、その外観は眺望や採光に配慮したシャープで近代的なつくり。内部はゼミ室（五室）をはじめ、約百人が利用できる宿泊室（二十四室）や食堂、浴室、多目的室、ラウンジ、事務室などが備わり、完成は来年五月となる見込みです。

同大学では、ゼミ合宿や卒業論文の作成指導のほか、市民向けの公開講座などに、年間を通じてこの施設を利用していきます。

第二期事業計画としては、セミナーハウスのほか教室棟の建設もあり、今後、同大学が設置しようとしている（仮称）スポーツ科学部の付属施設としての活用も、見込まれています。

活力あるふるさとづくりへ 地域振興アドバイザー制度

県が大海多目的の公益用地へ建設を計画している県立南地域コンベンションホールを活用した地域振興などをめざし、市では、「地域振興アドバイザー制度」を設けています。

この地域振興アドバイザーには県企画課長や企業庁長、幕張メッセなどの計画・運営に携わった経歴を持つ前日本コンベンションセンター相談役の下村恵保氏を昨年から委嘱しています。

今後は、地域振興アドバイザーによるコラムを随時、掲載していきます。どうぞ、ご意見をお寄せください。問い合わせは市企画振興課（☎7828）へ。

◆癒される都会人
年を通じて何時もさんざんとした太陽が輝き、抜けない黒潮の大海原が見渡す限りの水平線をつくる。海辺に出ると、長い砂浜があり、白波を立てる磯浜が随所に見られる。国道を走れば、大漁旗を掲げた漁船が見られ、新鮮で美味し

都市計画づくりにあなたの声を 「まちづくり会議」の参加者募集

市では「都市基本計画」の見直しにあたり、「まちづくり会議」の参加者を募集しています。

「都市基本計画」は、人口の変動、人や物の動き、土地利用の仕方、公共施設の整備などについて今後の見通しや目標を明らかにし、まちの将来像をどのようにしていきたいかを定めています。

「まちづくり会議」では、夢のあるアイデアなどを皆さんからいただきながら、21世紀のわがまちの「将来設計図」を「市民参加」のもとで作っていきます。

会議は、この7月から来年3月までの間に、月1回（時間は午後7時から2時間程度）の開催を予定しています。

対象は、市内に住所がある方。申し込みは、6月28日（金）まで市都市建設課（☎7835）へ。申込用紙は同課にあります。定員は30人で、申込多数の場合は、地域や年齢のバランスなどを考慮して選考させていただきます。

学校法人城西大学と 施設用地の譲与契約を締結

一方、学校法人城西大学とは、議会の議決を経て、五月十五日に大海多目的の公益用地の一部を譲与する契約を締結しました。

東京都内のホテルで行われた締結式には、鴨川市と学校法人城西大学の関係者が出席し、本多市長と水田理事長が契約書にそれぞれ署名しました。

近く、城西国際大学の大学院人文科学研究科・福祉社会専攻（修士課程）などに利用される教育研究施設の建設が始まります。



鴨川市 学校法人城西大学土地譲与締結式

魅力いっぱい鴨川

これは、多くの人が抱く鴨川地域への偽りのない印象である。私も長い間千葉県で仕事をし、時折訪れる鴨川を、そんな思いで楽しみにしていた。

一時は典型的な過疎地として、安房地域の人達自身

い魚への期待を高める。道端には彩り豊かな花畑が広がり、その後背地には緑豊かな緩い丘陵地が続く。空気が爽やかでどかた。日々雑踏の中で生活する都会人の目には、その光景は本当に魅せられ、癒される。

これは、多くの人が抱く鴨川地域への偽りのない印象である。私も長い間千葉県で仕事をし、時折訪れる鴨川を、そんな思いで楽しみにしていた。

一時は典型的な過疎地として、安房地域の人達自身

◆多くの人の来訪を願う
そんな動きの中で、鴨川地域は本当に大丈夫かと思う。長い間「夢の架け橋」と言われてきた東京湾アクアラインが出来たにもかかわらず、一向に賑やかにならないという。地域の為になつていないと言う人達が居るといふ。本当にそうだろうか。もし、そうだとしたらその原因は何なのか？私は千葉市に住んでいるが、人一倍「鴨川」という地域が好きである。だからもっと多くの人達が鴨川地域を訪れて欲しいと願っている。そんな目で私の気付いたことを書かせていただくと思う。

（下村 恵保） 続く



下村 恵保氏
しもむら よしほ

コラム